

「明日の京都」 実現目標（仮称）

< 目 次 >

【はじめに】 1 頁

【府民安心の再構築】 2 頁

【地域共生の実現】 2 2 頁

【京都力の発揮】 2 8 頁

【はじめに】

◇「実現目標」について

「明日の京都」でめざす社会の実現に向けて、長期ビジョンに示した大きな方向性の確認や、中期計画に掲げた「成果目標」を具体的な事実として把握するために適切な指標を選定し、選定した指標に関して、できる限り目標とする「方向」や「水準（数値目標）」を明示することとします。

◇指標の選定について

指標については、経費や人員等の「投入量（インプット）」ではなく、できる限り「成果（アウトカム）」（やむを得ない場合には「産出量（アウトプット）」）に焦点を置いた指標を選定するとともに、指標の動きを速やかに施策運営に反映させるという目的に適うよう、測定の迅速性や効率性といった点にも配慮して選定しています。

◇目標の設定について

選定した指標に係る目標については、目標とすべき水準の決定方法等について、現在のところ海外事例を含めても確立した考え方がないことから、今回は、過去の傾向や直近の数値（基準値）の状況をもとに、①全国一を目指すもの、②全国トップクラスを目指すもの、③全国平均以上を目指すもの、④過去最高を目指すもの、⑤基準値をもとにこれまで以上の伸びをめざすもの（ストレッチゴール）、⑥増加・減少等の方向のみを示すもの、⑦その他独自の目標を設定するもの等に区分し、それぞれについてできる限り挑戦的で高い目標を設定しています。

なお、数値による目標設定は、施策の予算等に直接影響を及ぼすにもかかわらず、複数の目標間の優先順位づけや、費用対効果についての議論に必要な情報を提供できないこと、さらには、数値目標の達成に捉われ過ぎると、新たに出現した緊急課題への対応など、社会・経済情勢に応じた柔軟で機動的な施策運営の支障となる恐れもあることから、今後、その設定手法や予算議論等との連動の仕方等について、さらに研究・検討を進めていくこととします。

◇指標の管理について

成果を確認するために活用する指標については、これを固定したものとせず、継続して研究開発や府民意見の反映に努め、府民にとってわかりやすく、また、府政の成果をより的確に表す指標（群）となるよう、常に改善・進化を図っていくこととします。

（注）

- ・表中「保留」等の表示箇所については、確定した時点で数値等を挿入します。
- ・指標のうちの代表的なものを別枠で表示することについても、今後検討していくこととします。